



2023年4月3日
社会福祉法人大阪水上隣保館
山崎保育園

お子様におかれましてはご入園、ご進級、誠にありがとうございます。当園ではつい先日卒園式を終えたばかりですが、いつの時代も春は出会いと別れの季節、そして出会いが後からやって来ます。

当法人創立者の中村遙は、92年前、舩(はしけ)の子どもたちを助ける「水上子供の家」を開設し、その後、この島本町に山崎保育園を設立しました。『援助を求める人いるならば手をさしのべる』隣人愛の精神に基づく働きです。当園の根底に流れるのはこの精神です。卒園式の式辞では「星の王子さま」の有名なフレーズを引用しましたが、『かんじんなことは目に見えないんだよ』が表す「心や気持ち」「人と人とのつながり」を大切にできる人となれるよう、職員共々目指してまいります。また同書には「きみがバラのために費やした時間の分だけ、バラは君にとって大事なんだ」というフレーズも。時間もまた目には見えない大切な要素。養育する大人側にとっては、子どもとかかわる時間が増えるほどに、その子がより一層かけがえのない存在となっていきます。更にはたとえ離れていても、その子を思っている時間は、その子に費やしている時間。つまり、保護者の方も私たち職員も覚醒中のかなりの時間を、いや、寝ている時間でさえ(夢に出てきます)子どもたちに費やしていると言えるでしょう。保護者の皆様と同じ気持ちでつながり合い、共にお子様の成長を見守らせていただきたいと思います。今年も1年、どうぞよろしくお祈りします。

園長 山崎 深

“キリスト教保育”が山崎保育園の原点です。

創設者の中村遙、八重子の理念であり、保育園でも幼児組は毎日の礼拝で賛美歌を歌いお祈りをしています。仲間を愛し大切にす気持ちを神様から教えていただくことで、人を助けたり支えたりいたわる気持ちが持てるようにと願っています。

2023年度キリスト教保育

主題 『ともにつむぎだす～希望の中で～』

乳児月主題・月の願い『はじめまして』『であう』

- ・ 出会いやつながりの中で安心して過ごす
- ・ 春の日差しや風に心地よさを感じる



幼児月主題・月の願い『よろしくね』

- ・ 出会いへの期待、不安などありのままの姿が受け止められ、好きな遊び、場所人を見つける
- ・ 身近な自然(草花、虫、種まきをするなど)を感じ、美しさ、おもしろさに気づく

4月の聖句 神は愛である

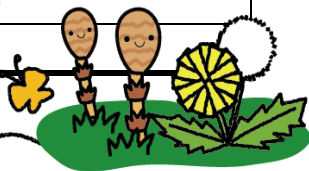
讃美歌 ♪つくしのように♪

1. つくしのように すくすくと
しゅイエスの子どもよ のびてゆけ
2. めだかのように すいすいと
しゅイエスの子どもよ すすみゆけ
3. ひばりのように そらたかく
しゅイエスの子どもよ のぼりゆけ
4. すみれのように あいらしく
しゅイエスの子どもよ さきにおえ



4月行事予定

日	曜日	行事
1	土	入園式
7~	金~	絵本・雑費・計測
20	木	創設者の墓参(ゆりぐみ)
21	金	誕生日会
26	水	非常時訓練(火災)
23	日	日曜日園庭開放



お知らせ

親子交流会

5月中旬の土曜日に戸外での『親子交流会』を計画しています。

新しいクラスで顔合わせも兼ねて、みんなで一緒に遊びましょう!

※詳細は後日お知らせいたします。

